

静岡県・下田市一体型道路包括管理業務委託について

令和7年2月

静岡県交通基盤部建設政策課

インフラの老朽化、維持管理費の増大、担い手不足

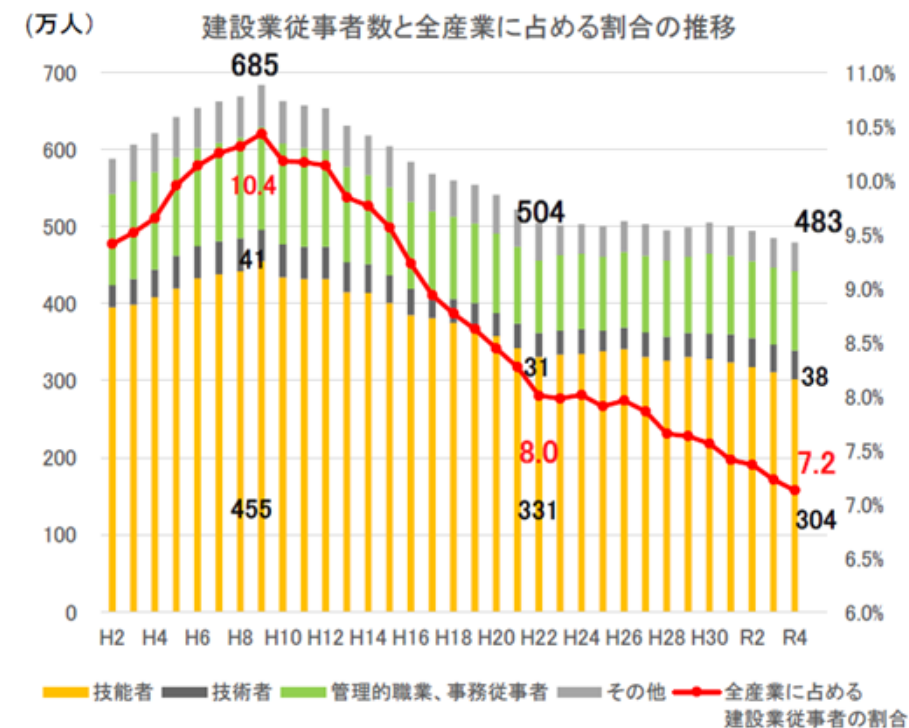
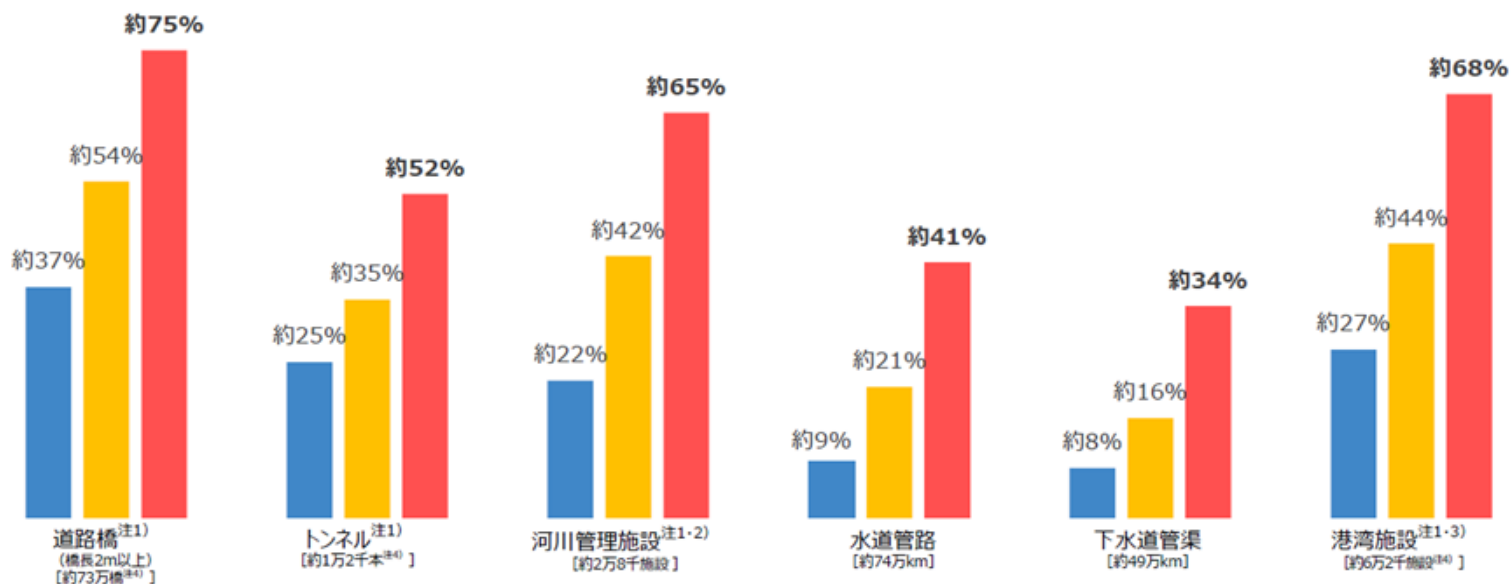
【建設後50年以上経過する社会資本の割合】（2023年3月時点）

[] : 各施設の総数（総延長）

■ 2023年3月

■ 2030年3月

■ 2040年3月

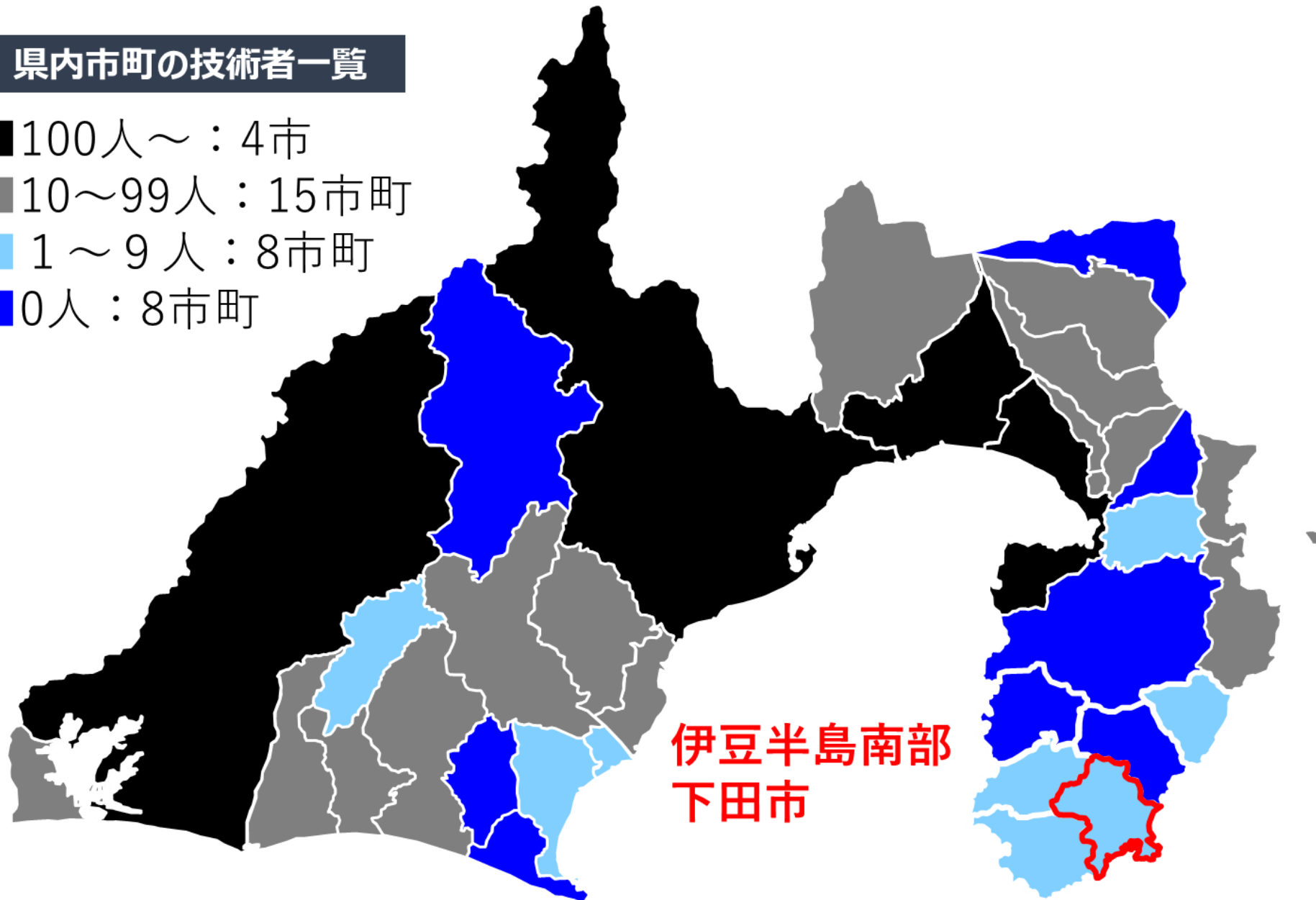


出典：国土交通省資料

県内自治体の土木職員数

県内市町の技術者一覧

- 100人～：4市
- 10～99人：15市町
- 1～9人：8市町
- 0人：8市町



令和5年度地方公共団体定員管理調査結果（総務省）より作成

令和3年度

令和4年度

事前整理

- 関連法令の整理
 - ✓ 道路法
 - ✓ P F I 法
 - ✓ 既存計画など
- 下田市内における道路管理の現状等の整理
 - ✓ 県・市の管理物
 - ✓ 県・市の管理手法など

事業化検討

- 事業スキームの検討
 - ✓ 事業展開
 - ✓ 業務範囲
 - ✓ 発注形態・受注形態など
- 活用効果の試算
 - ✓ コスト構造の捉え方
 - ✓ S I B
 - ✓ 新技術活用
 - ✓ 長寿命化など

詳細検討

- 仕様書等案検討
 - ✓ 業務内容
 - ✓ 業務範囲
 - ✓ 契約期間
 - ✓ 費用負担
 - ✓ 要求水準書
 - ✓ 入札参加条件
 - ✓ 支払い方式など

方針決定

- 方針概要
 - ✓ 3者契約方式
 - ✓ 地域維持型 J V
 - ✓ 総価契約

サウンディング調査（建設事業者、コンサル等）

● アンケート調査
市内入札参加資格者

● 勉強会
市内入札参加資格者

● 個別ヒアリング
市内入札参加資格者

● 個別ヒアリング
大手ゼネコン、コンサル
市内入札参加資格者

● アンケート調査
大手ゼネコン、コンサル
市内入札参加資格者

● 説明会
大手ゼネコン、コンサル
市内入札参加資格者

令和5年度から試行開始。。。と簡単にいかず

令和5年度上半期

地元の建設事業者 意見交換

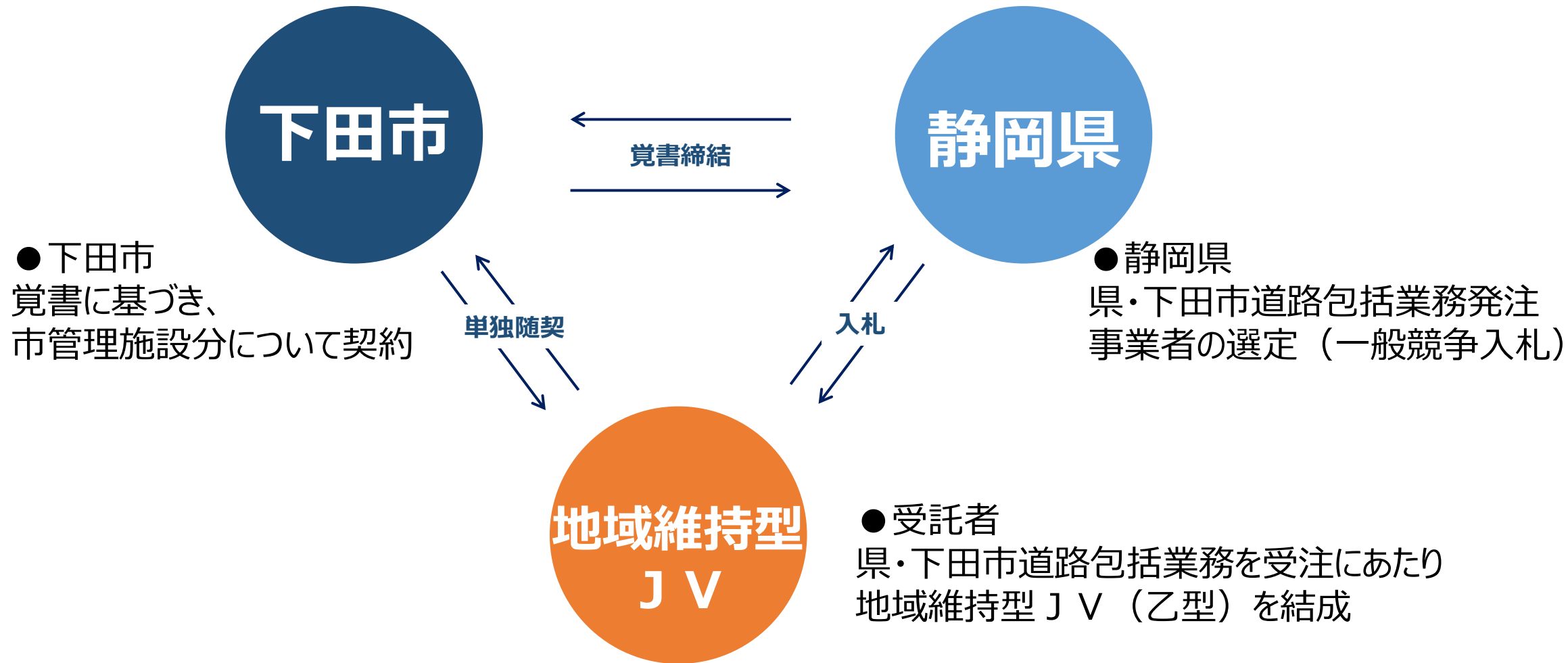
- 仕様書等調整
- ✓ 業務内容
- ✓ 業務範囲
- ✓ 契約期間
- ✓ 要求水準書
- ✓ 入札方式

具体的な仕様書が
出来て初めて自分事化

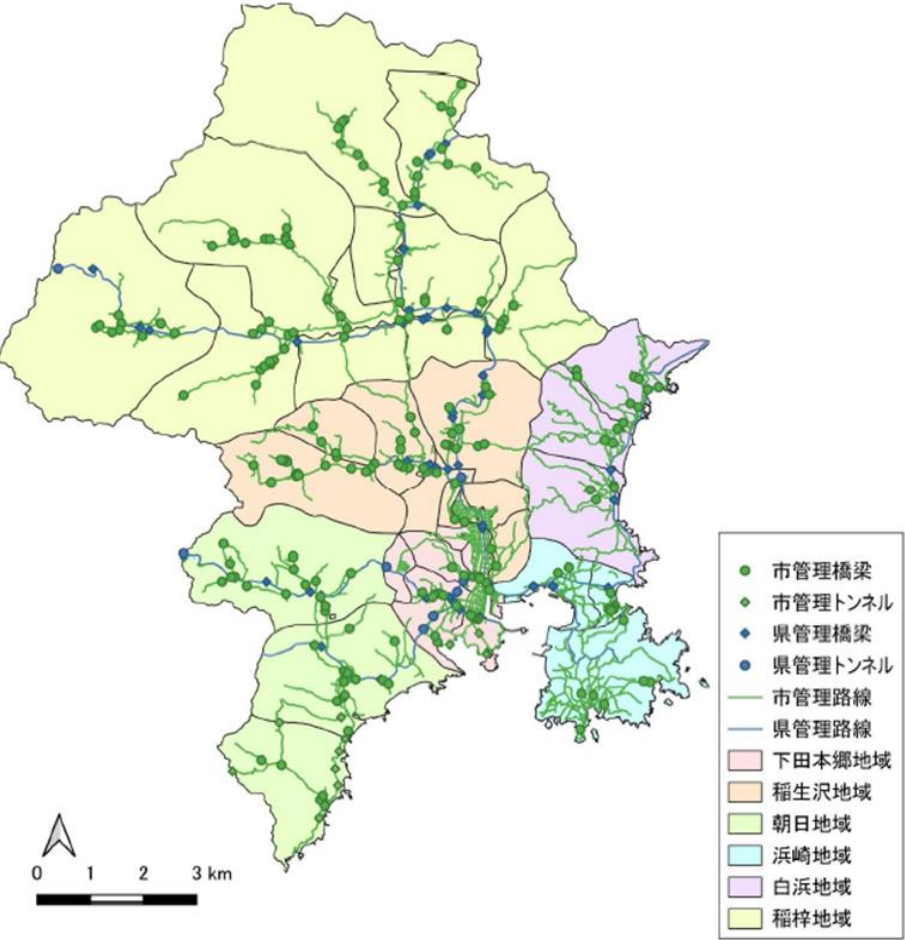
不安

行政・事業者ともに不安はあるが、
まずは試行をしてみよう！

3者契約方式



対象区域：下田市全域



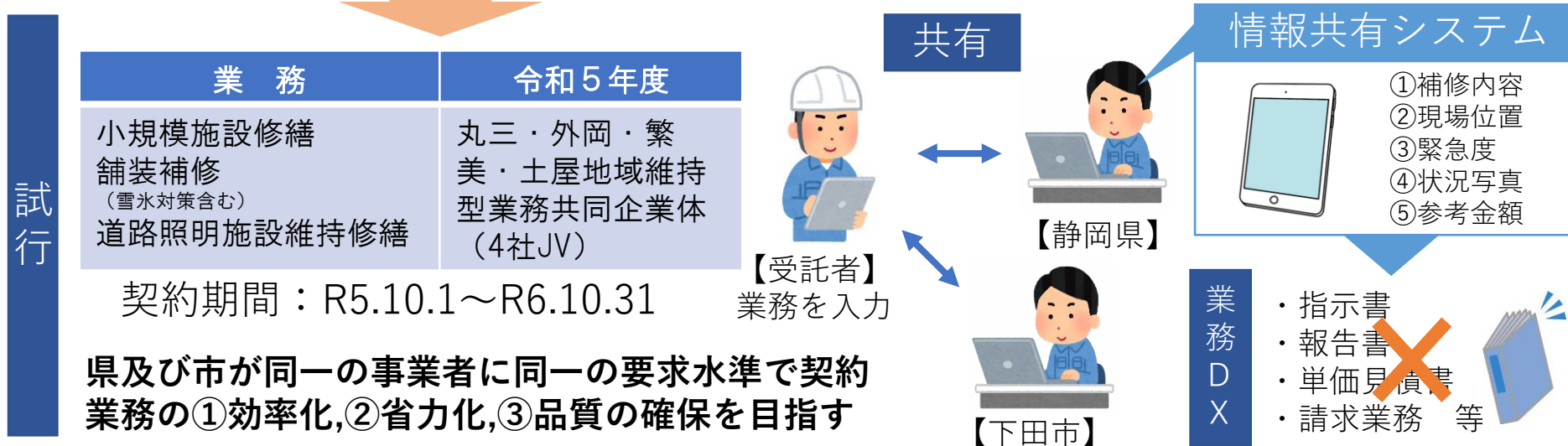
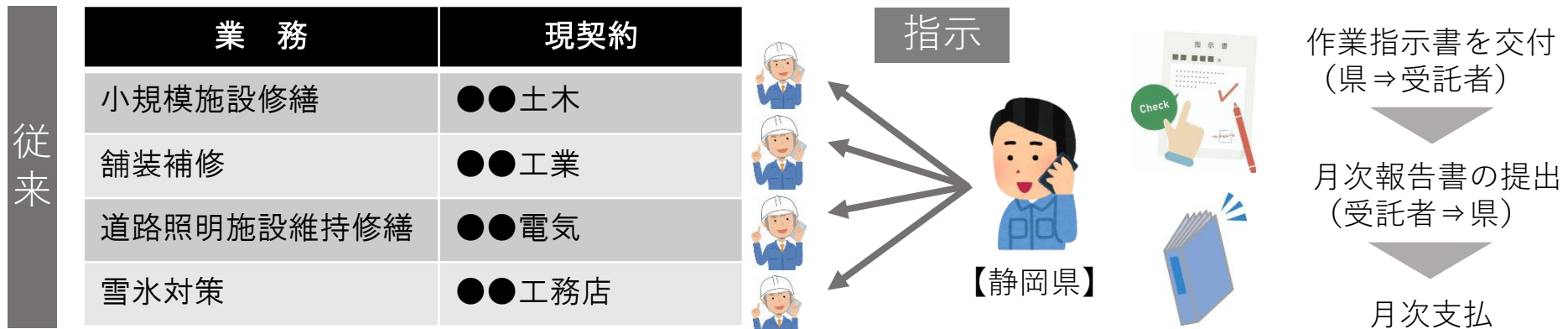
対象施設

管理者	道路種別	数量	計
静岡県	一般国道	26.0km	47.0km
	主要地方道	9.0km	
	一般県道	12.0km	
下田市	一級市道	40.0km	236.0km
	二級市道	32.0km	
	その他の市道	164.0km	
計			283.0km

業務範囲

業務項目	主な業務内容
道路維持業務 (小規模修繕) (舗装補修) (雪氷対策) (道路照明)	・舗装のポットホール、亀裂、段差の補修 ・排水施設工、交通安全施設工等の維持修繕 ・除雪及び凍結防止剤散布等 ・照明用機材の交換・修繕等 ・臨時パトロール、待機等

事業内容



区分	従来	試行
契約支払	業務量の単価または見積額の合計	総価契約支払（県：35,420千円 市：9,900千円）
要求水準	なし	要求水準（想定業務回数）以上の業務を行う
出来形確認	月次報告書の作成→支払	3者によるモニタリング（4半期1回）→支払
実施業務	1業務50万円を上限とする	同左

総価契約と要求水準

1年間で要求水準（過去3年間の平均業務回数）で道路を維持管理する

(県：35,420千円 市：9,900千円)		
業務委託名	要求水準回数（履行期間中の想定作業量の参考値）	
	県管理施設	市管理施設
舗装補修	40件 (R 2 ～ 4 年度平均)	2 件 (R 2 ～ 4 年度平均)
小規模修繕	110件 (R 2 ～ 4 年度平均)	30件 (R 2 ～ 4 年度平均)
雪氷対策	舗装補修に含む (R 2 ～ 4 年度平均)	舗装補修に含む (R 2 ～ 4 年度平均)
道路照明施設維持修繕	40件 (R 2 ～ 4 年度平均)	5 件 (R 2 ～ 4 年度平均)

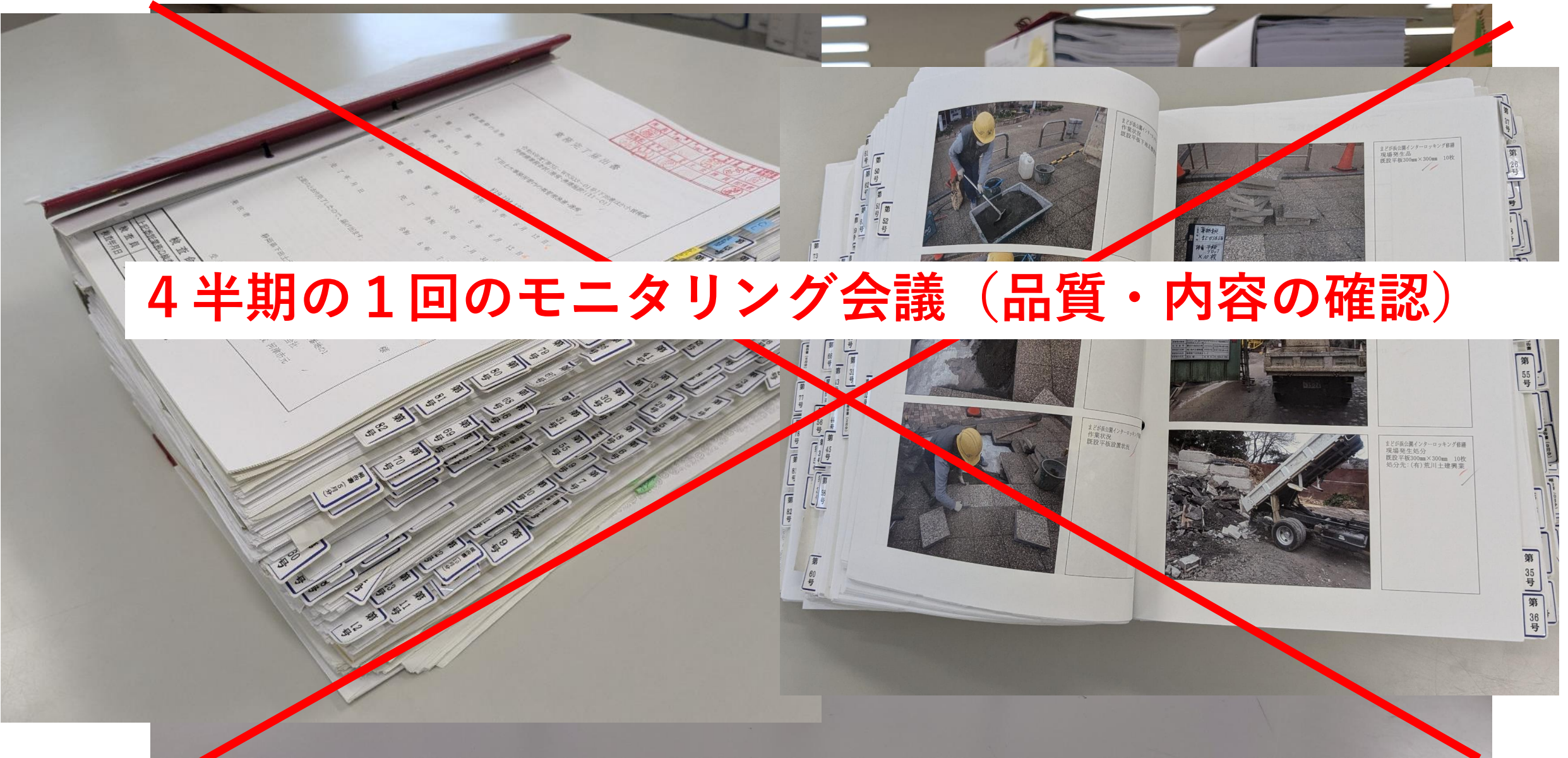
◎限られた予算で適切に維持管理を実施

◎仕様書上は、要求水準（回数）を規定

⇒従来の契約では、出来形数量確認のため多くの書類

従来の提出書類の量（指示書、出来形写真、月次報告書等）

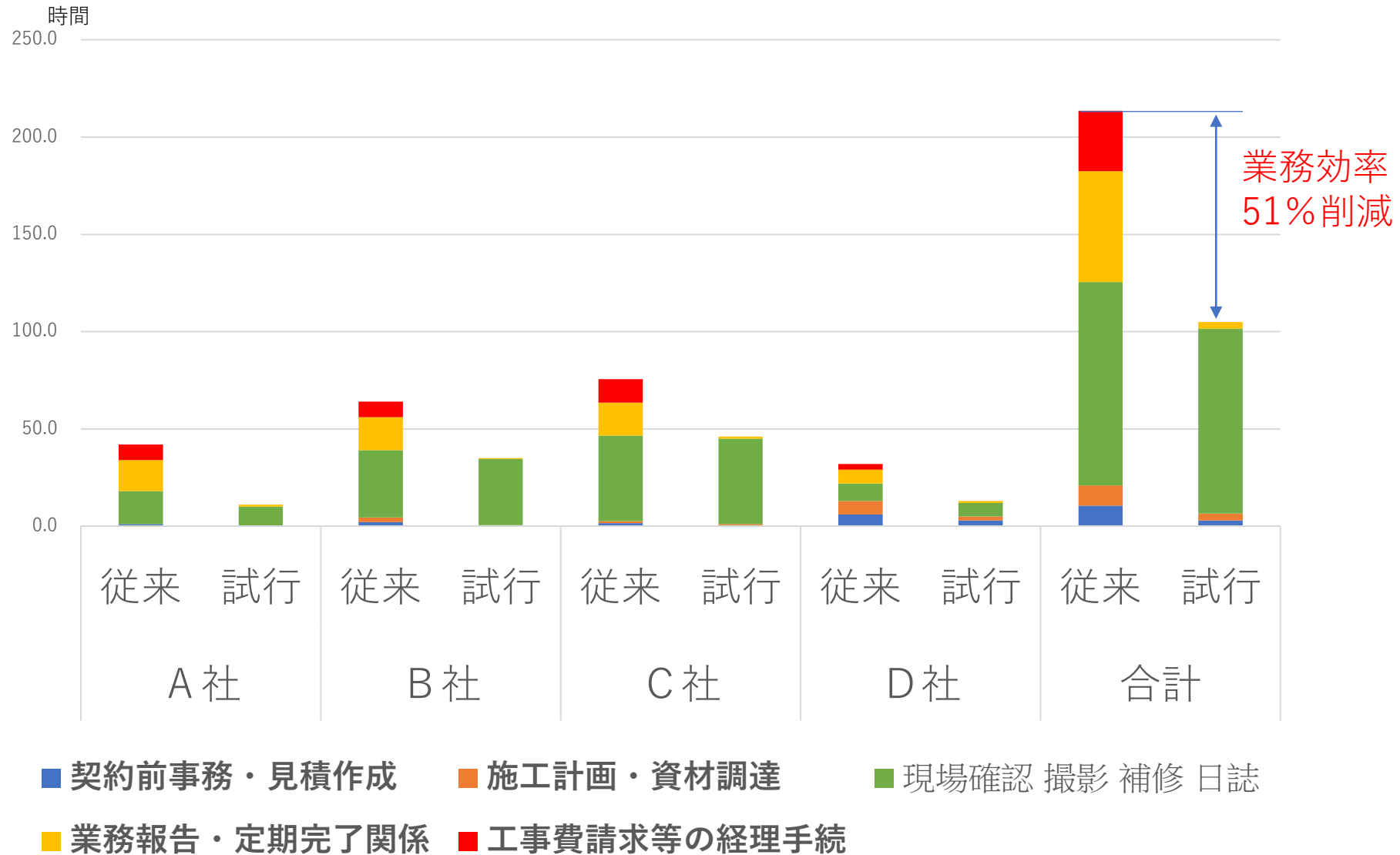
4半期の1回のモニタリング会議（品質・内容の確認）



詳細な業務実施の様子は外岡組さんから。。。

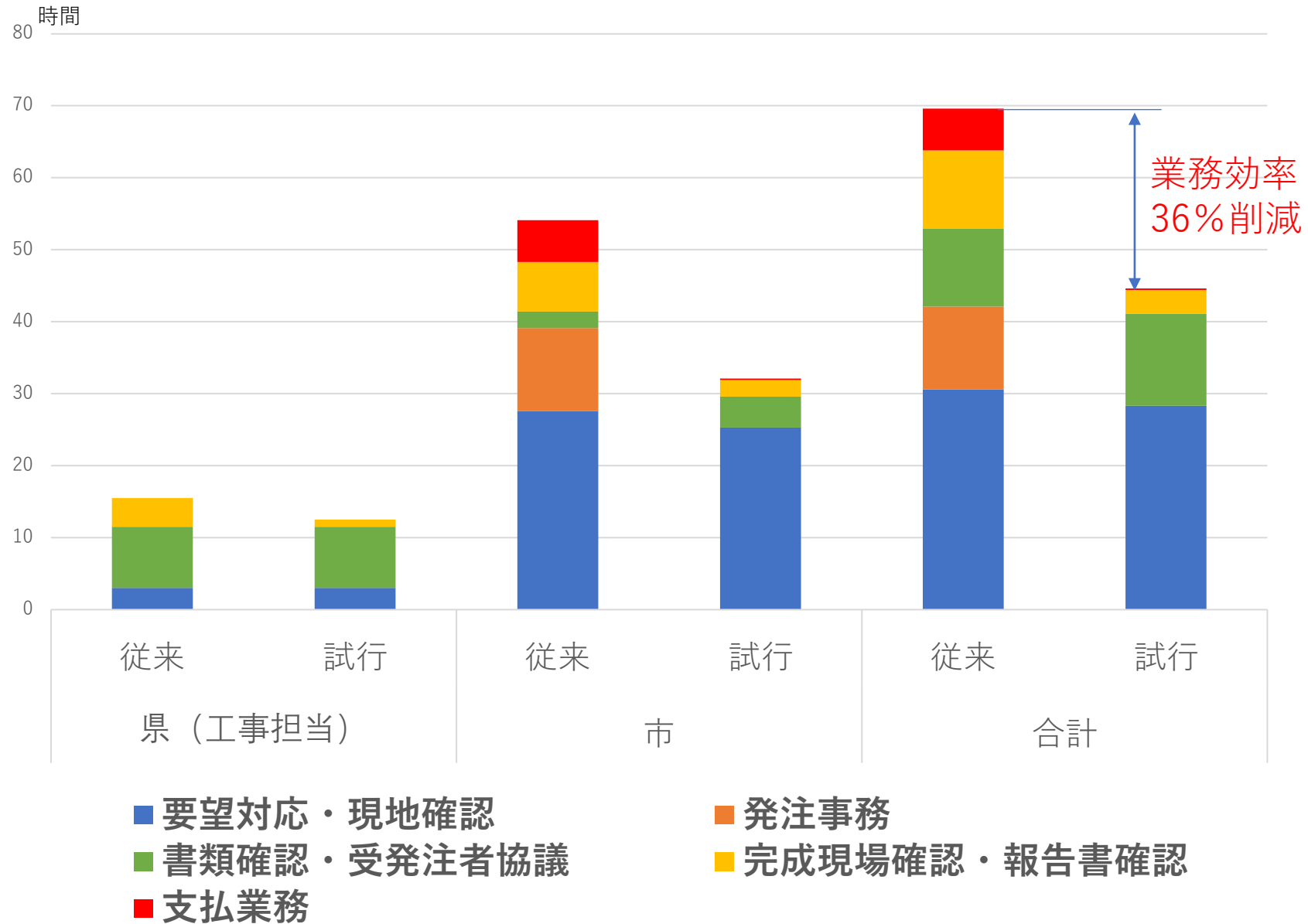
試行結果

4 社によるアンケート集計（業務量の縮減）の効果

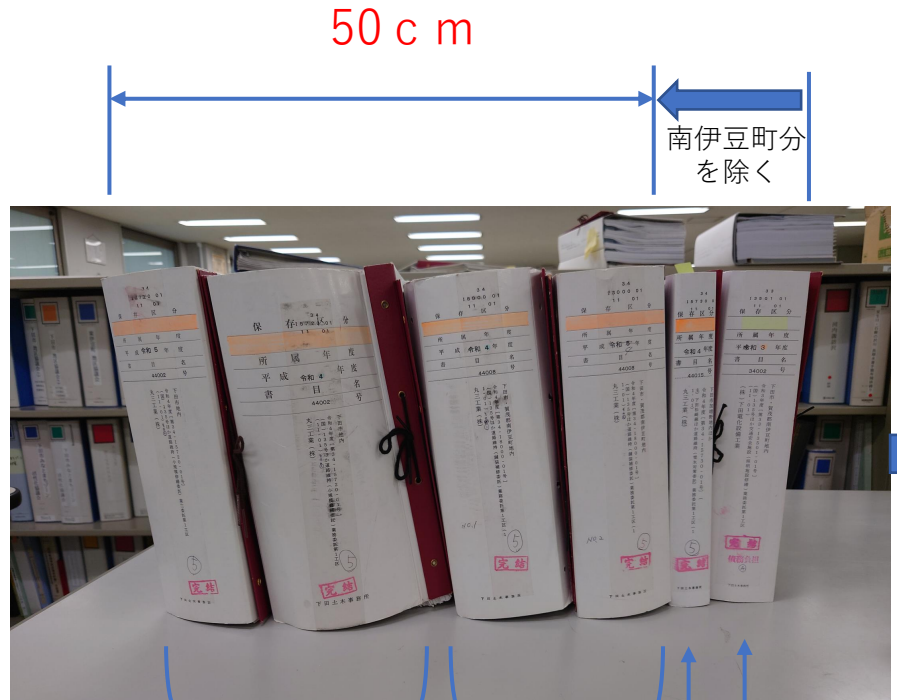


試行結果

発注者によるアンケート集計（業務量の縮減）の効果



【従来 4 業務】



小規模

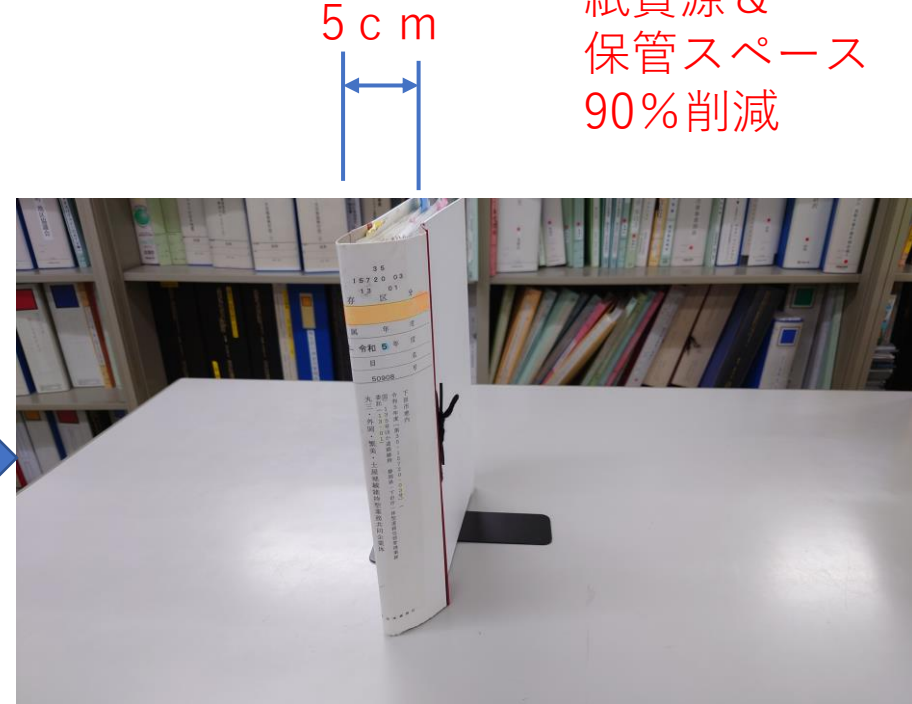
舗装修繕
(南伊豆町含
む)

照明修繕
(南伊豆町含
む)

発注設計書

小規模213、舗装修繕96、雪氷59、
照明修繕68、計436ページ

【包括（試行）】



発注設計書 32ページ

良い点

- ・ 地域維持型JV（乙型）での施工であり、エリアが明確で混乱は少なかった。
- ・ 最初は不安が大きかったが、試行していくうちに慣れてきた。
- ・ 報告書や出来形写真が省略されたため、非常に効率化が図られた。
- ・ 利益率が良くなった。
- ・ 指示から施工までの時間が短縮された。

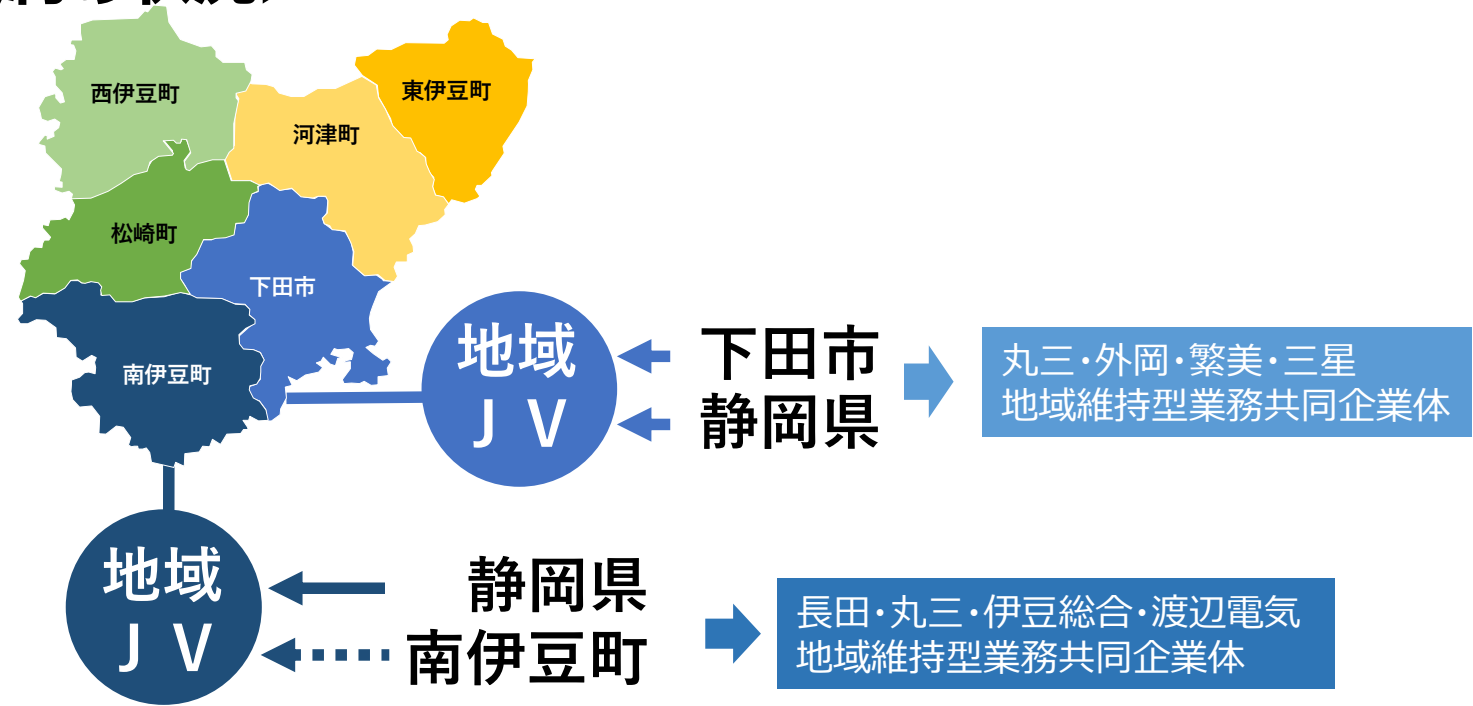
改善点

- ・ 実施済み件数のとりまとめ等に手間がかかった。
- ・ 今後、業務やエリアが拡大し、構成企業が増えた場合、マネジメントにかかる労力が大きくなる。
- ・ 総価契約・要求水準（回数）では、バランスが取るのが難しい。
- ・ 緊急度の高い作業が優先されてしまう。

今後のロードマップ

	2023年度試行業務	STEP 2	STEP 3
視点1 エリア (管理者)	静岡県 下田市	静岡県 下田市 近隣市町	静岡県 広域市町
視点2 業務範囲	道路維持	道路維持 パトロール 河川・砂防維持	道路維持 パトロール 河川・砂防維持 住民対応 全体マネジメント
視点3 事業手法	仕様規定 1年契約 3者契約 総価支払	改訂	一部性能規定 複数年契約 2者契約 指標連動

<包括契約の状況>



<今後の展開>

賀茂地域（6市町）での全体的な実施に向けて

組織体の構築へ	構成員	賀茂6市町 建設関係課長・担当等 静岡県 建設政策課・道路保全課・下田土木事務所
	開催内容	・情報共有（国政策・県取組・他県状況・法令関連） ・現状・課題・論点の整理、アンケート結果報告

【最重要課題】

今後も増大する、**維持管理・補修・長寿命対策事業**には、持続可能な**「地域の担い手」**の維持・確保が最も重要。受発注者の協力による体制の構築が求められる。

受注者に求めること



受注者と発注者がともに進めること